

鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり構想【ダイジェスト版】

<鶴ヶ島駅周辺地区的将来像（目指すべき最終目標）>

歩きたくなるくつろぎとにぎわいのまち

鶴ヶ島駅周辺地区では、今後、更なる人口減少・少子高齢化の進行が見込まれます。

そのため、安全で快適な歩行空間の創出や魅力ある商店街づくり等により、居心地の良い、歩行者中心の充実した暮らしの確保を図ります。また、ガーデンパークの活用や新たな交流拠点の整備等により、地域住民をはじめとした人々の憩い・交流・にぎわいが創出されるよう、様々な関係者が協働しながら一体的なまちづくりに取り組みます。そして、鶴ヶ島駅周辺地区がいつまでも活力にあふれ、誰もが笑顔になり、安心して住み続けられる、そんな好循環が生まれるまちを目指します。

<まちづくりの4つの方針（将来像の実現に向けた取組）>

安全で居心地が良く歩きたくなる
道路空間の形成

生活を支え活力を生み出す
魅力ある**商店街づくり**

地域と一緒にとなった
ガーデンパークの活用

公共施設再編による
地域交流施設の整備

まちづくり方針図①
(鶴ヶ島駅通り)

まちづくり方針図②
(共栄鶴ヶ丘線)

まちづくり方針図①

まちづくり方針図②

まちづくり方針図②

<まちづくりの主要課題>

道路交通の
安全性向上

快適で歩きやすい
歩行空間の確保

商店街の魅力向上と
にぎわい創出

ガーデンパークの
利活用

新たな交流拠点の
整備

<地区の現況>

■概況

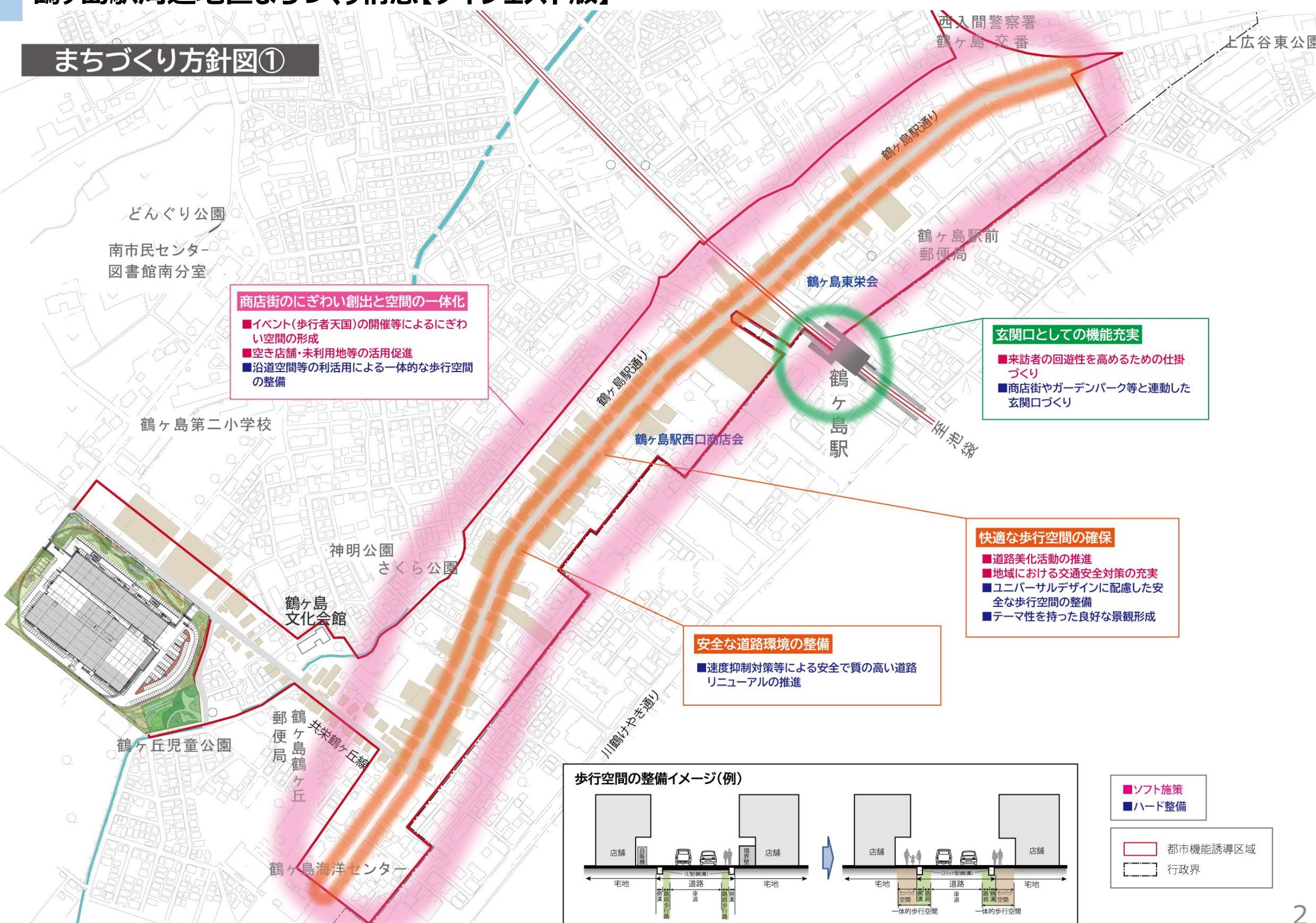
- ・戦後の開拓を経て、早期に市街化が進行し、古くから本市の活力をけん引
- ・近年は、急速な人口減少・少子高齢化が進んでおり、今後もその傾向は続く見込み

■市民意見（市民アンケート、団体ヒアリング、まちづくりワークショップ）

- ・「道路空間の整備」、「商店街の活性化」、「歩くことが楽しいと感じられるまちの整備」を求める意見が多い
- ・ガーデンパーク及び新たな交流施設は、期待する声がある一方で、居住環境への影響を懸念する声もある

鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり構想【ダイジェスト版】

まちづくり方針図①



鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり構想【ダイジェスト版】

まちづくり方針図②

ガーデンパーク

地域住民が日常利用できる公園づくり

- 子どもから高齢者まで誰もが集える公園づくり
- 公園・緑地を活用した地域住民の地域活動や健康づくりの促進
- 誰もが快適に過ごすためのルールづくり
- 利便性向上や防犯に向けた取組
- ナチュラルガーデンの育成を通じた豊かな生活環境の創出

イベント実施等による特別利用

- 鉄道やナチュラルガーデンをテーマとした事業の実施
- 地産地消・飲食イベント等の実施
- 地域団体や周辺企業等と連携した取組の実施



鶴ヶ島第二小学校

道路整備の推進

- 安全性向上に向けた道路整備の推進

地域交流施設

地域活動の拠点形成

- 柔軟な地域活動の促進
- 子どもから高齢者まで誰もが気軽に利用できる機会の創出
- 自治会活動や行事を支える機能の充実
- 多様なニーズに対応した機能配置
- 多世代交流を促す利用しやすい機能配置

歩いて行ける身近な行政窓口の充実

- 地域福祉・健康づくりの場としての活用
- 市民センターや図書館機能の継承
- 地域に密着した市役所窓口の設置

利便性向上に向けた新たな機能導入

- 休憩スペースやカフェ機能の導入
- ガーデンパークとの一体的な活用
- 水路や水路沿いの一体的な活用

鶴ヶ島文化会館
郵便局
鶴ヶ島鶴ヶ丘
共栄鶴ヶ丘線

鶴ヶ丘児童公園

鶴ヶ島海洋センター

快適な歩行空間の確保

- 道路美化活動の推進
- 地域における交通安全対策の充実
- ユニバーサルデザインに配慮した安全な歩行空間の整備
- テーマ性を持った良好な景観形成

■ソフト施策
■ハード整備

■都市機能誘導区域
■行政界